

### Ⅲ. 各種機関との交流

#### 2. 1. 3 米国 オクラホマ視察

期間:3月12日から3月17日

参加者:太田(伸)、スコフィールド、道地、熊澤

##### ◆ オクラホマ 高校訪問 ◆

日時:3月13日 15時ころから約2時間程度

参加者:太田、スコフィールド、熊澤

・学校の特色についての説明。理数系を中心とした特別編成学校。米国内の数学大会でも好成績を残している。また、語学は5ヵ国語を選択し学習。日本語も含まれているようで、将来的には日本語クラスの生徒と石川高専の低学年との交換留学の可能性。

・物理／化学はそれぞれ担当教員が率いるプロジェクトを実施している様子。詳細は不明。

・寮などの福利施設も充実している模様。



##### ◆ オクラホマ市立大学 ◆

日時:3月14日 9時ころから17時ころまで。

参加者:太田、スコフィールド、熊澤

##### a. 大学キャンパス案内(9時から11時)

##### b. 留学生担当の責任者との面談

時間:11時から12時ころ。ただし続きは食堂にて。

参加者:Dr. Millie C. Audas(director education abroad & international student service), Karen L. Elmore, M.A. (assistant director education abroad)

・オクラホマ大学の留学生受け入れ状況の説明。日本では、立命館大学をはじめとして5大学程度の交流実績あり。

・まずは、研究者および学科交流から始めて、学生交流は順次様子を見ながら開始する方向で話がまとまった。



#### c.建築学科教員との面談

時間:13 時ころから 14 時くらいまで。

参加者:James R. Patterson (associate dean), 他インテリア教授

場所:食堂および建築仮設スタジオ

- ・建築教育プログラムでは、ビジテイング・クリティックとしての交流が可能。
- ・共通の課題もしくは、遠隔地での短期間のワークショップなどは可能。

#### d.工学系責任者との面談

時間:15 時から 16 時くらいまで

参加者:Musharraf Zaman, Ph. D., P.E.(david prss boyd professor aaron Alexander prfessor)



- ・工学系施設更新が終了して、プロジェクトを各学科で行っているため、それに石川高専の学生が参加する可能性を示唆していた。
- ・前向きに検討することのこと。

#### d.希少図書館案内

時間:16 時ころから 17 時くらいまで。

案内:Stephan P. Weldon(Hss bibliographer assistant professor history of science)

他一名

◆ オクラホマ州立大学 訪問 ◆

日時:3月14日から15日

参加者:道地

案内:Paul Po-Siu, ASLA (Dpt. Of Horticulture and Landscape Archi., Landscape Archi., Program)

概要:前向きに対応する話。各種プログラムに参加可能との報告。